

日ト 117654 発第号  
令和 8 年 4 月 20 日

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会  
事業委員長 入 江 健 二 公印略

**水路トンネル工事現場研修会開催のご案内**  
**—東村山導水管工事—**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動に種々ご支援賜り、誠に有り難うございます。

さて、このたび東京都水道局をはじめ、関係各位のご協力により、下記のとおり東村山導水管工事現場研修会を開催することといたしました。

東京都水道局では、災害や事故時、既存施設更新時のバックアップ機能を確保するため、新たな導水管を整備し、多摩湖から境浄水場へ原水を送る導水管の二重化を実施しております。

今回の研修現場である東村山導水管工事は、掘進延長 3,503m、地下約 30m に内径 2,700mm のトンネルを泥水式シールド（ハイブリッド式）にて施工しております。シールドの特徴として泥土圧と泥水式を併用したハイブリッド式となっており、泥土圧で切羽を保持しスクリュコンベアで排出された掘削土はスクリュコンベア後方で泥水と混合して流体輸送され地上に搬出しております。また、鉄道交差（3 箇所）、都道横断（3 箇所）、河川横断（1 箇所）といった様々な近接構造物がある中での現場施工の取り組みや、急曲線（曲率半径 R=30m）の条件下での施工等、特殊で高度な技術を見聞する大変良い機会と存じます。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. と き：令和 8 年 5 月 2 8 日（木）13:00～15:10

2. 工事概況：

工 事 名	東大和市多摩湖四丁目地内から東村山萩山町三丁目地内間導水管 (2000mm)用立坑築造及びトンネル築造並びに連絡管用立坑築造工事
工事場所	東京都東大和市多摩湖 4 丁目 611 番地内から東村山市萩山 3 丁目 31 番地内間
発 注 者	東京都水道局
施 工 者	奥村・オリエンタル白石・TSUCHIYA 建設共同企業体
工事概要	φ 3,080 泥水式シールド（ハイブリッド式） セグメント内径 φ 2,700mm、掘進延長 3,503m 中間立坑改造（アーバンリング工法）：1 箇所 到達立坑築造（柱列式連続地中壁 ECO-MW 工法）：1 箇所

3. 定 員：15 名（会員優先、1 社 2 名以内、定員になり次第〆切させていただきます）

4. 参加費※：個人会員 3,000 円、団体会員 4,000 円、一般 6,000 円（消費税込み）

※本研修会の実施にあたり、実費相当額をご負担いただきます。

5. 行程：13:00 西武多摩湖線 八坂駅改札前 集合

13:00～13:10（10分）徒歩移動

13:10～13:40（30分）事業概要および工事概況説明

13:40～14:40（60分）東村山導水管工事現場 見学

14:40～15:10（30分）質疑応答

15:10 解散

（集合後の時間は目安です。状況により前後する場合がありますので了解願います。）

6. 申込方法：下記ウェブサイトの申込フォームにアクセスし、参加者、年齢、会社名、所属役職、TEL、会員の種別（個人、団体、一般）を記入のうえお申し込み下さい。本会で、受領後受付番号をご連絡いたします。なお、電話での申し込みは受けません。

ウェブサイト [https://www.japan-tunnel.org/event\\_info/6543](https://www.japan-tunnel.org/event_info/6543)

7. 支払方法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入のうえ下記へお振込願います。現金書留でも結構です。

郵便振替口座 00160-7-196331 加入者 一般社団法人日本トンネル技術協会

8. その他：

①本人の都合により欠席する場合は、参加費の払戻しはしませんが、「団体会員」と「一般」の代理参加は可能です。

②ヘルメットは現場で貸与しますが、**作業着・長靴は、特に準備しませんので汚れてもよい服装、靴でご参加願います。**

③下記申込みに係る個人情報につきましては他に利用するものではありません。

④土木学会の継続教育プログラムに申請中です。後日ホームページに掲示いたします。

ご希望の方には、現場研修会実施後、申込時のメールアドレスに参加証明書（PDF）を送付いたします。

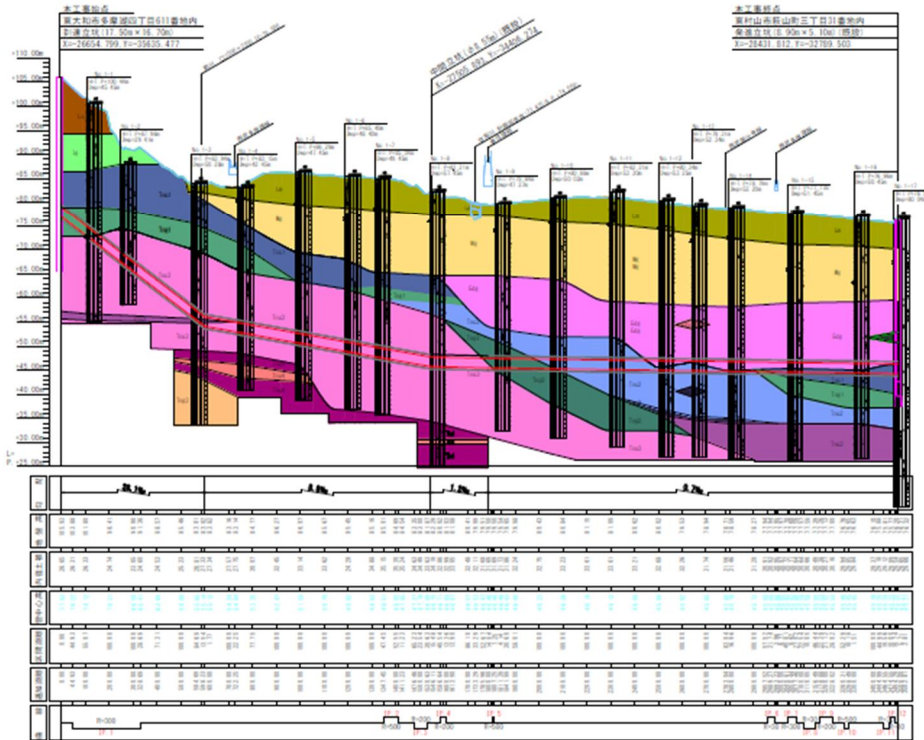


第 21 回東京都水道事業運営戦略検討会議資料より引用



現場資料より引用

全体縦断面図 縦=1:1000(横=1:500)  
縮尺 横=1:20000(横=1:10000)



地質断面凡例

土質名	記号	N値 (平均値)
礫土	B	-
砂	Sp	2~6 (3)
粘土質ローム 凝灰質粘土	Ca	2~9 (7)
砂 礫	Sp	17~50以上 (46)
粘土質ローム 凝灰質粘土	Ca	18~50以上 (27)
粘土質ローム 凝灰質粘土	Ca	10~50以上 (44)
細砂	Eds	18~20 (19)
粘土 粘土質シルト	Ed1	8~15 (11)
シルト 砂質シルト 砂質シルト	Tru1	3~50以上 (17)
砂 礫 粘土質砂礫 凝灰質砂	Tru1	10~50以上 (48)
シルト 砂質シルト 砂質シルト	Tru2	11~50以上 (26)
砂 礫 粘土質砂礫 凝灰質砂	Tru2	14~50以上 (45)
細砂 シルト質細砂 シルト質砂	Tru3	46~50以上 (49)
シルト 砂質シルト 砂質シルト	Tru3	12~50以上 (25)
細砂 シルト質細砂 シルト質砂	Tru3	12~50以上 (42)
シルト 砂質シルト 砂質シルト	Tru4	10~50以上 (37)
細砂 シルト質細砂 凝灰質砂	Tru4	10~50以上 (41)
砂 礫	Tru3	50以上 (50)

現場資料より引用

<問合せ先>

日本トンネル技術協会催物係 〒104-0045中央区築地2-11-26築地MKビル6階  
TEL:03-3524-1755 E-mail event@japan-tunnel.org